

よ き
～ 読み聞かせサークル ～



おはなしシュッポー



です！！

わたしは子どもたちに『もっと本に親しんでほしい』『誰かに本を読んでもらう
心地よさを感じてほしい』そんな思いで活動している読み聞かせサークルです。

2月3月に読んだ本の紹介

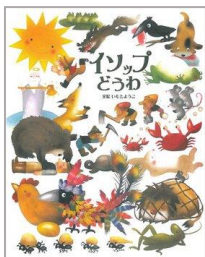
給食中に放送での読み聞かせを行っています

今年度の本の紹介はこれで最後となります。放送やなないろラボ・音楽室で読み聞かせをした読み物は合わせて『79』もの数となりました。聞いてくれた、聞きに来てくれた児童のみなさん、ありがとうございました。お気に入りの本との出会いが1つでもあったのならうれしいです。春休みはどんな本を読む？！



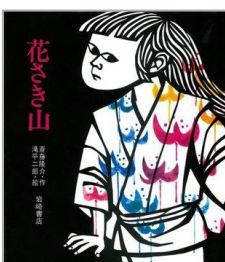
『あさえとちいさいもうと』
作/筒井頼子、絵/林明子

あさえがお留守番していると、妹の泣き声が聞こえて…。
妹に喜んでほしくて一生懸命遊ぶあさえですが、妹がいなくなってしまう。必死に探すあさえは見つけられるかな？



『イソップどうわ』
文・絵/いもとようこ

「きんのおの ぎんのおの」「おおかみしょうねん」「かにのおやこ」「たびびととくま」有名なイソップ童話の短編集より4つのお話を読みました。教訓のような一言もついていておもしろいです。



『花さき山』
作/斎藤隆介、絵/滝平二郎

山菜をとりについて、山ばに会ったあや。やさしいことをすると、美しい花がひとつ咲くという花さき山の感動のものがたり。心にのこる名作絵本です。



『ライオンをかくすには』

作／ヘレン・スティーヴンズ、訳／さくまゆみこ

ちい おんな こ おお
小さな女の子が、大きなライオンをかくすにはどうすればいい？アイリスは、いつまでライオンをかくしておけるでしょうか…。続編「おばあちゃんからライオンをかくすには」もぜひ読んでみてくださいね。



『ねずみのおいしやさま』

作／中川正文、絵／山脇百合子

ねずみのおいしやさまのところへ「坊やが風邪で熱を出したのですぐ来てください。」とりすさんからの電話が…。ところが、かえるさんの家でぐうぐう眠ってしまったお医者さま…。りすの坊やはどうなってしまったのでしょうか？



『だいちゃんのちびねこ』

文・絵／やまもとまつこ

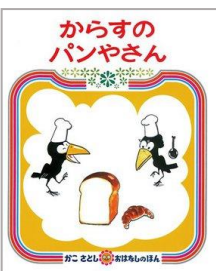
た す せかいいちおお
食べ過ぎて世界一大きなねこになってしまったちびねこのユーモラスなお話は、どんどん大きくなってしまったちびねこは、とうとう動物園に入れられることに?! ねこを愛する絵本作家によるロングセラーの絵本です。



『あなたがおとなになったとき』

文／湯本香樹実、絵／はたこうしろう

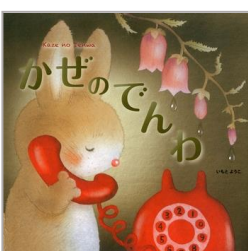
あなたがおとなになったとき、あなたの世界はどうなっているでしょう? 子どももお大人も想像力を膨らませることができる絵本です。



『からすのパンやさん』

作／かこさとし

いずみがもりの、パンやさんのからすの夫婦に4匹の子どもが産まれます。子どものお世話をしながらお店の準備はなかなかうまくいきません。ですが、そのうちからすのパンやさんは大フィーバーとなるのです! なにがどうなってしまったのでしょうか?!



『かぜのでんわ』

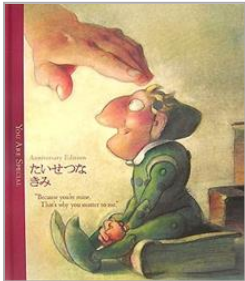
作／いもとようこ

ひがしにほんだいしんさい こころ ふっこう いわてけんおおづちまち せっち かぜ でんわ
東日本大震災の心の復興にと、岩手県大槌町に設置された「風の電話ボックス」電話線は繋がっていません。「会えなくなった人に伝えたい…」この絵本はその電話をモデルにしたお話です。七小図書館にあります。



『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』
 作／キース・ネグラー、訳／石井睦美

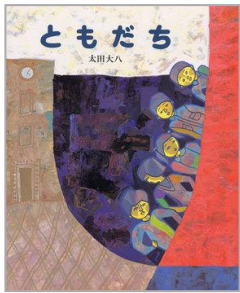
女の子がズボンをはく。今では当たり前前（いまあたりまえ）のことが、許（ゆる）されない時代（じだい）があった。そんなことって、考（かんが）えられる？ それも、たった150年前（ねんまえ）の本当（ほんとう）の話（はなし）。だれもが自分（じぶん）らしく自由（じゆう）に生き（い）られるようになりますように。



『たいせつなきみ』

作／マックス・ルケード、絵／セルジオ・マルティネス、訳／ホーバード豊子

ウイミックスという木（き）の小人（こびと）たちの村（むら）では、お星（ほし）さまシール（しール）とダメ（だめ）じるしシール（しール）をくっつけあ（く）って暮（く）らしていた。ダメ（だめ）じるしシール（しール）ばかり貼（は）られていたパンチネロ（パンチネロ）は、ある日（ひ）、シール（しール）が1枚（まい）も貼（は）られていないルシア（ルシア）に出（で）会うこと（こと）になるので（ので）す…。



『ともだち』

作・絵／太田大八

ぼくとクラスメイト（ねんご）の20年後（すがた）の姿（さい）は？ 8歳（さい）のぼく（ぼく）にはいろいろな個性（こせい）をもった友（とも）だち（だち）が（が）いる。そして、20年後（ねんご）のみんな（みんな）は、それぞれ（それぞれ）の方面（ほうめん）で大活躍（だいかつやく）！



♪おひるのおはなし会で読んだ本の紹介♪

～昼休（ひるやす）みに、な（な）な（な）い（い）ろ（ろ）ラ（ラ）ボ（ボ）や（や）音（おん）楽（がく）室（しつ）で、対（たい）面（めん）で（で）の（の）読（よ）み（み）聞（き）かせ（かせ）を（を）行（おこな）っています～

□『はだかの王さま』紙芝居 原作／アンデルセン、文／安田浩、画／清水祐幸

みんなからほめられるおしゃれな王さまのきものはどんなきものでしょうか？

みなさんにはどんなきものに見えますか？



□『とうさんまいご』 作／五味太郎

父（とう）さんとデパート（デパート）でお買（か）い物（もの）。ところが、ぼく（ぼく）がおもちゃ（おもちゃ）を研（けん）究（きゆう）して（して）いる（いる）間（あいだ）に（に）… 父（とう）さん（さん）が迷（まいご）子（こ）にな（な）った（った）！？ 大（だい）変（へん）、探（た）し（し）に（に）行（い）か（か）ない（ない）と（と）！ 『五味（ごみ）太郎（たろう） しかけ絵（え）本（ほん）』シ（シ）リ（リ）ー（リー）ズ（ズ）の（の）第（だい）2（に）作（さく）目（め）で（で）す。『き（き）い（い）ろ（ろ）い（い）の（の）は（は）ち（ち）ょう（ちやう）ち（ち）ょ（ょ）』『ま（ま）ど（ど）か（か）ら（ら）の（の）お（お）く（く）り（り）も（も）の（の）』と（と）合（あ）わ（わ）せ（せ）て（て）読（よ）ん（ん）で（で）み（み）て（て）く（く）だ（だ）さ（さ）い（い）ね（ね）。



※ 6年生のシュッポースペシャルでは、2つのお話をしたよ ※

□『蜘蛛の糸』（大型紙芝居）

作／芥川龍之介

絵／遠山繁年



フラックライトや
プロジェクターを使ったよ！



□『12の贈り物 世界でたったひとりの大切なあなたへ』

作／シャーリーン・コスタノゾ

絵・訳／黒井健

